

津久戸

令和3年3月1日

3月号

新宿区立津久戸小学校

寛容な心

校長 牧田 健一

早いもので今年度も、いよいよ残すところ19日（登校日）となりました。児童は心も体も確実に成長し、進学進級に向けての力も付けております。思い起こせば、昨年3月、突然の臨時休校から始まり、3か月の休校期間、1か月の分散登校、夏休みの短縮、様々な行事の中止や変更とご迷惑をおかけしました。にもかかわらず、ここまで大きな事故やけがもなく、過ごすことができたのも保護者の皆様、地域の皆様のおかげであると感じています。改めて感謝申し上げます。

さて、今年度大事にしたいこととして、寛容な心に重点を置いてきました。

- ・受け容れ、許す ・認める、高め合う
- ・感謝し、人を敬う ・謙虚に自己を見つめる

この4点を具体化するためには、学校内だけではなく、様々な大人とも関わりや地域教材との出会い等が重要であり、核心ではないかと考えて、学校全体で実践が行われてきました。

神楽坂商店会の皆様や熊谷組様等のご協力をいただき様々な方々と児童は接することができました。その活動を生かして児童同士が話し合いを通して学習を進めることができました。地域の方やゲストティーチャー、人ではなく音楽や図工の作品など、形を変えて様々な関わりを児童は経験してきたと思います。

自分を高めるためには当然、自分自身の努力が必要です。しかし、より自分を高めようとするならば、それは一人ではできません。自分を磨いてくれる人やモノ、コトが必要なのです。それが自分自身の深まりや強さを伸ばしてくれるものと確信しています。来年度以降も関わりを大切にした教育活動を展開することで、津久戸小学校の児童が寛容な心を持ち、よりよい成長を目指していきたいと思います。

話はかわりますが、まだしばらくはコロナ禍が続きます。医療に従事している皆様を申し上げるとともに、地域の皆様にも陰ながらエールを送りたいと思います。

子供の日常と「絵に表す」ということ

今年度は、コロナ禍により、4月当初から全国的に休校となりました。そこで、津久戸小の図工からは、4～5月までの間、各学年に合わせて、日記形式の課題に取り組むようにしました。この課題には、1日1回、鉛筆やペンなどをもって、自分の思いを絵に表してほしいという願いが込められていました。学校再開後、ほぼ全員の子供たちが、しっかりと日記に取り組み、提出することができていました。見応えのあるものばかりで、とても感動しました。

文部科学省から各教科について示した「学習指導要領」という手引きがあります。図工の目標の中の内容に「感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことから表したいことを見付ける」という文言があります。まさに、子どもたちは、この期間をご家族と過ごす中で、自分なりにテーマを見付け、これらのことを実践していました。どんな絵であっても、「絵に表す」ことは、子どもの日常の中にあるのだと改めて実感しました。この課題は、年度末には、全て返却する予定です。是非、ご家庭で大切に保管していただけたらと思います。

給食室より

今年度の給食は、6月から始まりました。給食再開にあたり、普段の給食セットに加えて給食当番用エプロンと三角巾の準備、カトラリー類の持参をお願いしました。感染防止のために共有を避けるという目的とはいえ、急なお願いにもかかわらずご協力をいただきありがとうございます。改めて、津久戸小保護者の意識の高さを強く感じました。

毎日の給食では、コロナウイルス感染症対策として、手洗いの徹底、マスクの着用に加え、給食時間は全員が一方向を向いての喫食、マスクを外したら会話を控えることを約束としています。楽しく豊かな会食の時間が一変し、寂しい感じがしますが、子どもたちは良く頑張っています。そして、毎日配布している「おいしいおたより」をよく聞き、食べることに集中する時間になりました。

食育をすすめる上で、給食は生きた教材と言われます。栄養の事はもちろん、食事のマナー、食品の旬や生産、食文化、SDGsなど様々なことと

の繋がりを学ぶことができます。これも良い機会と捉え、充実した給食指導の時間としていきます。



【学年の窓から・・・6年生】

1組担任

「1年生当番はどうでしょうか。」「入学式の代表は二人にする？」こんな会話を交わし、最高学年に期待を膨らませていた昨年2月。突然の休校で、クラスメイトと3か月ぶりに顔を合わせた皆は、当たり前前に学校があるということを「有り難い」と感じることでできる子どもたちに育っていました。様々な行事が中止になる中、日々の雑ばくな出来事から楽しみを見出す姿はとても眩しく、頼もしく感じられました。1年生にお手紙を渡しに行った時、机の横に膝をつき、にこやかに視線を合わせながら話す子どもたちを見て、もっと6年生としての役割を果たす姿が見たかったなど少々寂しい気持ちになりました。

4月からはいよいよ中学生。津久戸小で培った力を糧に、自信をもって進んでほしいなと思います。

2組担任

津久戸小学校の学校教育目標は「知性と教養にあふれ、たくましく前向きに生きる津久戸の子」です。今年度、改訂されました。4月、休校中ではありましたが、6年生として登校してきた初日に、子どもたちに「3月には、この教育目標の姿で卒業するんだよ」と話をしました。今年は、コロナの影響により、イレギュラーな日常と我慢の日々でした。しかし「できることをやろう」という前向きな気持ちをもった6年生の心は、確実に成長していました。10月の津久戸オリンピック。皆で協力し、6年生としての役割を果たすことができました。

いよいよ卒業です。3月25日には、「知性と教養にあふれ、たくましく前向きに生きる津久戸の子」として、胸を張って巣立っていくことと思います。

3月の生活目標

『人の気持ちを大切にしよう』

- ・感謝の気持ちをあらわそう。
- ・みんなでなかよく遊ぼう。
- ・心をこめてあいさつをしよう。
- ・一年間のまとめをしよう。



卒業を迎える月になりました。1年間、在校生は津久戸小のリーダーとして活躍してくれた6年生に、6年生は、卒業までにお世話になった人々に、感謝の気持ちが伝えられる月になってほしいと思います。学年のまとめの時期でもあります。学習だけでなく、生活の様子についても振り返り、来年度につなげましょう。

(生活指導部)